



りす組担任

明奈
郁百合

弥生
友美

10月に入り、日中の暑さも少しずつ和らいで過ごしやすくなりました。一日一日、秋の足音が近付いてきていることを実感しています。これからは、外遊びや散歩などの戸外活動に積極的に取り組み、子ども達と一緒に様々な「秋」を見つけていきたいと思います。また、この時期は夏の疲れが出てきたり、風邪をひいたりなど体調を崩しやすくなる時期でもあります。早寝・早起き、食事などの生活習慣を今一度見直し、元気いっぱいに秋を満喫できるようにしていきましょう！

【生活】

運動会という一つのビッグイベントを終え、また一つ大きく成長してくれた子ども達。特に心の成長が著しく、自己主張がますます強くなってきたことで、エネルギーな毎日を過ごしています。心が自立に向かって成長していくと、今まで保護者や保育士がそばに居てお世話をしてきていた「心地よくて安心できる状況」から離れて、自分でやってみたくなる時期が来ます。りす組の子ども達は今まさにこの時期の真っただ中にいるのだと感じています。そのため、「自分でやりたい！」という気持ちが強く、食事や排泄、衣服の着脱などの生活活動にも積極的に取り組んでくれています。しかし、一生懸命に自立に向かって頑張っているという反面、一人ですべてできると思ったことが上手くできなかったり、いつもそばでお世話をしてきていた人がいなかったりするふと、不安や寂しさを感じる時があります。そんな時、かまってほしくなったり、今も自分のことを愛してくれているか愛を確かめたりと、保護者や保育士などの身近な存在に愛情を求めて甘えてくることあるでしょう。その甘えに十分に答えてもらうことで、子ども達は安心を得る事ができ、心は再び、自立に向かって少しずつ成長していくのだと思います。子ども達の甘えは心の自立、順調な成長過程と思いながら温かく見守っていききたいです。また、2歳前後のこの時期を「イヤイヤ期」や「魔の2歳児」、「第1次反抗期」などといったネガティブなイメージと捉えるのではなく、子ども達にとっての「自分探しの時期」や何でもやる気に満ちた「やるやる期」などの前向きなイメージで捉えながら、これからの成長を楽しみに、じっくりとかわっていききたいと思います。

【遊び】

今まで、自分の好きな遊びを見つけてその遊びの楽しさを見つける「一人遊び」がほとんどであった子ども達。少しずつ、友達がしている遊びに関心を持ち始め、じっと見つめたり、声を掛けたりといった「傍観遊び」や、友達のしている遊びに惹きつけられて、一緒に遊びを始める「並行遊び」の姿が見られるようになり、遊びの面でも成長を実感しています。しかし、同じ場所で同じ遊びをしていても、一緒に遊んでいるわけではないため、自分の世界を崩されることでトラブルが起きたりすることも増えてきました。言葉の面でも一人ひとり発達の個性が大きいため、自分の思いがなかなか伝わらなかったり、玩具を譲ったりといったことが難しいため、玩具の取り合いになってしまうこともあります。遊びを通して、様々なトラブルを経験することで譲り合いの気持ちや謝り方、一緒に遊ぶ方法を学んでいく事ができるのだと思います。体の成長と同じで、遊び方にも成長過程があるため、一人ひとりに応じてかわっていきながら、子ども達が友達と一緒に遊ぶことの安心感を得たり、友達の良さを少しずつ感じられるように見守っていききたいと思います。

「7、8、9月の主な活動」

- ・ 戸外遊び（砂場、芝山、総合遊具、トロッコ、ポールなど）
- ・ 室内遊び（ままごと、ブロック、トンネル、ポールなど）
- ・ 月刊誌や季節の絵本の読み聞かせ
- ・ 季節の歌や遊び歌、手遊び
- ・ プール遊び、水遊び
- ・ 製作・・・7月 アイスクリーム
（絵の具でお絵描き、シール貼り）
- 8月 海とさかな
（絵の具スタンプ、お花紙とビニール袋）
七夕の短冊
- 9月 とんぼとコスモス
（絵の具スタンプ、クレヨンでお絵描き）
- ・ 運動会の練習（遊戯、かけっこ、だるまさん作り）

【これからの活動】

散歩、戸外遊び、運動遊び、毎月の製作
秋の遠足、生活発表会に向けての練習

☆ 衣替えの季節がやってきました ☆

秋を迎え、衣服が長袖へと変わるこの時期は、子ども達が四季の変化を感じる良い機会となります。衣替えを通して、適切な服装で健康に過ごすことの大切さを伝えていきたいと思いますので、子ども達が自ら気温や天気に応じて衣服の調節がしやすいような服装をお願いします。

